

平成23年第3回小山町議会3月定例会会議録

平成23年2月28日(第2日)

召集の場所 小山町役場議場
開 議 午前10時00分 宣告
出席議員 1番 米山 千晴君 2番 田代 一夫君
3番 藺田 豊造君 4番 臼井 淳一君
5番 梶 繁美君 6番 鷹嶋 邦彦君
7番 池谷 洋子君 8番 湯山 鉄夫君
9番 米山 元君 10番 室伏 武君
11番 岩田 澗泉君 12番 真田 勝君
13番 込山 恒広君 14番 岩田 治和君
15番 仲井 民夫君

欠席議員 なし

説明のために出席した者

町 長	高橋 宏君	副 町 長	田代 信幸君
教 育 長	戸枝 浩君	企 画 総 務 部 長	田代 源治君
住 民 福 祉 部 長	土屋 礼二君	経 済 建 設 部 長	小野 巖君
教 育 部 長	常盤十四信君	会 計 管 理 者	高木 昇一君
企 画 調 整 課 長	後藤 栄一君	ま ち づ くり 推 進 室 長	遠藤 一宏君
総 務 課 長	高橋 忠幸君	税 務 課 長	湯山 正敏君
福 祉 課 長	田代 順泰君	住 民 課 長	岩田 英信君
健 康 課 長	羽佐田 武君	生 活 環 境 課 長	室伏 博行君
建 設 課 長	鈴木 哲夫君	農 林 課 長	池谷 和則君
商 工 観 光 課 長	池谷 廣美君	都 市 整 備 課 長	小野 克俊君
上 下 水 道 課 長	吉川 保利君	学 校 教 育 課 長	小野 学君
生 涯 学 習 課 長	土屋 和彦君	総 務 課 副 参 事	秋月 千宏君

職務のために出席した者

議 会 事 務 局 長 鈴木 豊君
会議録署名議員 13番 込山 恒広君 14番 岩田 治和君
散 会 午前11時47分

(議 事 日 程)

- 日程第 1 議案第16号 平成23年度小山町一般会計予算
- 日程第 2 議案第17号 平成23年度小山町国民健康保険特別会計予算
- 日程第 3 議案第18号 平成23年度小山町育英奨学資金特別会計予算
- 日程第 4 議案第19号 平成23年度小山町後期高齢者医療特別会計予算
- 日程第 5 議案第20号 平成23年度小山町下水道事業特別会計予算
- 日程第 6 議案第21号 平成23年度小山町土地取得特別会計予算
- 日程第 7 議案第22号 平成23年度小山町介護保険特別会計予算
- 日程第 8 議案第23号 平成23年度小山町水道事業会計予算

議

事

午前10時00分 開議

○議長（仲井民夫君） 本日は御苦労さまです。

ただいま出席議員は15人です。出席議員が定足数に達しておりますので、小山町議会は成立しました。

ただいまから本日の会議を開きます。

本日の議事日程はあらかじめ配付したとおりでありますから、朗読を省略いたします。

日程第1 議案第16号 平成23年度小山町一般会計予算

○議長（仲井民夫君） 日程第1 議案第16号 平成23年度小山町一般会計予算を議題とします。

各部長から補足説明を求めます。企画総務部長 田代源治君。

○企画総務部長（田代源治君） 平成23年度一般会計予算の企画総務部関係の補足説明を行います。

初めに、歳入から御説明申し上げます。

予算書の9ページをお開きください。1款町税の総額は39億2,196万6,000円と、平成22年度に比べ9,343万3,000円、率にして2.3%の減となっております。この内訳といたしまして、1項町民税は13億6,410万円で、町税全体の34.8%、2項固定資産税は23億9,929万1,000円で、町税全体の61.2%と、これらが町税収入の大半を占めております。

3項軽自動車税は3,840万円で、1.0%、4項町たばこ税は1億2,000万円で、町税全体の3.0%、5項の入湯税につきましては17万5,000円となっております。

それでは、税目ごとに御説明いたします。

19ページをお開きください。1款1項町民税、1目個人の1節現年課税分ではありますが、前年度対比で1億900万円、率にして9.4%減の10億4,600万円を見込みました。減額の要因につきましては、民間賃金が厳しい状況にあったことを反映して、人事院勧告により国家公務員の年間給与が、平均で1.5%の減となること、また、退職者の増、人口減少及び高齢化による就業人口の減などが、給与収入に影響していることなどから、勧告等をもとに給与収入を2.5%減で見込んだことなどが主なものであります。

次に、その下の2目法人の1節現年課税分ではありますが、法人数が442社となっております。国内景気は、家電エコポイントやエコカー減税などの政策的支援による効果が薄れていくにつれ個人消費が減速することもあり、緩やかな伸びにとどまる見通しになることが予測される中、海外経済の改善を足がかりに、年後半には回復軌道に戻るとの見方もあるため、平成22年度の決算見込み等を基礎とし、前年度対比6,500万円、率にして26.5%の3億1,000万円としたところでございます。

次に、20ページをお開きください。2項1目固定資産税の1節現年課税分ではありますが、土地につきましては、引き続き土地価格の下落により、収納率を98.0%と見込み、前年度対比1,344

万9,000円、1.8%減の7億2,503万3,000円で計上いたしました。

家屋につきましては、平成22年中、企業の大規模な新築等が前年に比べ縮小する中、新築、増築家屋については、前年をやや上回るなどから、前年度対比505万3,000円、0.6%増の8億6,408万5,000円としたところであります。

償却資産につきましては、海外経済が緩やかに成長を続けると見られることから、設備投資がプラスになると予測されるなど明るい兆候も見られますが、中小企業は依然として厳しい状況が続くとの見通しもあるため、平成22年度の実績見込みを基礎とし、企業の設備投資の減少、減価償却なども考慮して、収納率を98.0%と見込み、前年度対比4,195万7,000円、5.1%減の7億7,636万円といたしました。

これらの要因により、固定資産税全体では、前年度対比5,035万3,000円、2.1%減の23億7,247万8,000円を見込んだところであります。

次に、3項1目軽自動車税、1節現年課税分ではありますが、250cc以下の二輪車は減少傾向にある中、軽四輪乗用車が前年度対比で約100台増加しております。このようなことから、2.4%増の3,840万円を見込んだところであります。

次に、21ページの4項1目町たばこ税につきましては、近年の健康志向により、喫煙者数の減少傾向が続く中、税制改正により平成22年10月から税率の引き上げが実施されており、平成22年度決算見込額を基礎といたしまして、前年度対比1.6%減の1億2,000万円を見込んだところであります。

次に、23ページをお願いいたします。2款3項1目地方揮発油譲与税3,200万円は、平成21年度から道路特定財源の一般財源化により、その上の1目の地方道路譲与税から組みかえたものでございます。

次に、24ページをお開きください。6款1項1目地方消費税交付金2億3,500万円は、平成6年の税制改正により創設されたもので、前年度比500万円の減額ではありますが、県からの市町交付金の見込額等から推計し計上したものであります。

その下の7款1項1目ゴルフ場利用税交付金2億6,500万円は、前年度に比べ4,000万円の減額を見込みました。平成22年度現時点の利用者数は、対前年比15.3%の減であり、近年の景気の悪化や、特に団塊の世代に続く世代プレーヤーの減少等により、交付金の減少が見込まれる状況となっております。

次に、8款1項1目自動車取得税交付金4,500万円であります。前年度に比べ、1,000万円の減額になっておりますが、自動車取得税の減額が終了したことと、現在の経済状況を勘案して、自動車の売り上げの減少が見込まれることから、見込額を推計して計上したものであります。

次に、25ページをお願いいたします。11款1項1目地方交付税2億8,000万円であります。前年度に比べ1億9,800万円の増額になっておりますが、平成22年度においては、基準財政収入額で町民税や市町村たばこ税の減収と、基準財政需要額で子ども手当等の社会福祉費の増に伴い、普通

交付税の交付がされました。平成23年度においても、これらの状況が続くと見込まれ、交付見込額相当分を計上し、増額となるものであります。

次に、32ページをお願いいたします。15款2項8目特定防衛施設周辺整備調整交付金1億8,720万円は、防衛施設関連市町村に対し交付されるもので、本年度は通常分と特別分である沖縄県道104号線越え実弾射撃訓練を実施するための交付金であり、須走道の駅整備事業東富士五湖道路オンランプ整備工事等を実施するための交付金であります。

次に、37ページをお開きください。16款2項9目特別対策事業補助金の1節緊急雇用創出事業補助金5,075万1,000円は、国の施策により、現下の雇用失業情勢にかんがみ、短期の雇用、就業機会を創出・提供するために、町の古文書解読者育成事業や町有施設等環境整備事業など13事業を実施するもので、新規雇用者数は28人を予定しております。

次に、38ページから39ページにかけて、17款1項1目財産貸付収入3億718万1,000円の主なものは、1節土地貸付収入の説明1東富士演習場貸付料2億8,882万3,000円で、前年度比0.63%の増で、その貸付面積は252万8,707.74平方メートルであります。

同じページ、下段の17款2項1目不動産売払収入の1節土地売払収入3,713万円の主なものは、大御神地先の町有貸付地を、吉久保山野組合に4か年分納により払い下げた3年目分と、平成20年度に町内3組合に4か年分納により払い下げた4年目分でございます。

次に、42ページをお開きください。19款2項基金繰入金について御説明いたします。1目地域福祉基金繰入金2,485万6,000円は須走小学校放課後児童クラブ新築事業等に必要な財源を、2目教育施設準備基金繰入金4億6,554万円は須走小学校体育館建設事業や小山中学校改築事業に充てるために、3目の財政調整基金繰入金2,000万円は台風9号に伴う災害復旧工事等の一般財源に充てるため、それぞれ必要な財源として繰り入れするものであります。

次に、歳出について御説明いたします。

56ページをお開き願います。4目財産管理費の7節賃金529万9,000円は、緊急雇用創出事業により、町有施設の環境整備等を行うため、約7か月、4名分の賃金であります。

次に、59ページ下段から61ページにかけての7目電算管理費3,567万5,000円の主なものは、14節使用料及び賃借料の2,725万3,000円で、住民票等の交付や住民情報の検索及び財務会計処理等を行うための総合行政システム機器使用料など12項目の使用料であります。

次に、62ページから63ページにかけての10目諸費3,789万4,000円の予算額が、前年度に比べ583万4,000円増額しています主なものは、4節共済費、臨時職員社会保険料2,719万円が緊急雇用創出事業等で臨時職員が増加しているためでございます。

次に、64ページをお願いいたします。中段の2目賦課徴収費4,734万9,000円は、前年度と比較しますと2,276万9,000円の減額であり、その主なものは13節委託料で、平成24年度固定資産税評価替えに係る不動産鑑定評価及び緊急雇用創出事業としての課税資料電子ファイリング業務の終了によるものでございます。

次に、74ページをお開きください。2款7項1目企画渉外総務費の19節負担金補助及び交付金の説明10ウルトラ・トレイル・マウントフジ実行委員会負担金50万円は、山梨県、静岡県にある10市町村が後援する富士山の周囲を走るトレイルランニングの国際レースを実施するための負担金でございます。

続いて、76ページをお開きください。2目まちづくり推進費1,677万4,000円のうち、7節賃金186万8,000円は、国の緊急雇用創出事業により、富士箱根トレイル推進協議会事務職員1名分の賃金であります。

また、15節工事請負費の説明1 トイレ・案内標等設置1,145万2,000円は、富士箱根トレイルの施設整備を行うため、県の観光施設整備事業費補助金により実施する工事費でございます。

その下の19節負担金補助及び交付金の説明3 富士箱根トレイルハイキングバス路線導入事業助成金12万1,000円は、ハイキングシーズンの4月から11月までの8か月間の土日祝日の朝1便のバス運行に対し、バス事業者に助成するものであります。

次に、180ページをお願いいたします。11款1項公債費1目元金7億8,189万円は、対象本数193本に対する町債の償還元金であります。

また、その下の2目利子の1億3,649万8,000円の主なものは、対象本数210本の町債の償還利子であります。

以上で、企画総務部関係の説明を終わります。

○議長（仲井民夫君） 住民福祉部長 土屋礼二君。

○住民福祉部長（土屋礼二君） 平成23年度一般会計予算、住民福祉部関係の説明を行います。

まず、歳入から説明いたします。

予算書の31ページの中段をお願いいたします。15款2項1目民生費国庫補助金の2節児童福祉費補助金の説明2 演習場周辺民生施設設置事業費補助金5,598万円は、いきど保育園とすがぬま保育園の園舎改修事業に対して、交付される補助金でございます。

35ページの上段、16款2項2目民生費県補助金の2節老人福祉費補助金の説明4 介護基盤緊急整備等特別対策事業費補助金7,620万円は、民間事業者が建設する地域密着型介護保険施設への、県から交付される補助金でございます。

続いて、歳出について説明いたします。

まず、58、59ページをお願いいたします。6目自治振興費の2,962万2,000円につきましては、区長及び区への交付金、防犯灯の設置維持管理に対する交付金が主なものでございます。

次に、67ページをお願いいたします。2款3項1目戸籍住民基本台帳費13節委託料、説明2 住民基本台帳システム改修1,050万円は、現行の外国人登録制度を廃止し、平成24年7月から外国人住民を住民基本台帳法の適用対象に変えるシステムを改修するものでございます。

次に、86ページをお願いいたします。2目障害福祉費の2億9,292万3,000円は、委託料、負担金補助及び交付金、扶助費が主な支出になっております。

次のページの13節委託料の説明1、2、3、6は、障害者自立支援のための委託事業でございます。それぞれ障害のある方が在宅で利用する、地域活動支援センター事業、訪問入浴サービス事業、相談支援事業等を事業者へ委託し、支援するものでございます。

88ページの20節扶助費でございますが、説明3の重度障害者（児）医療費扶助3,300万円と、説明10の障害介護給付費1億9,800万円は、身体障害者、知的障害者及び精神障害者の入所支援費や居宅介護グループホーム、ケアホームの利用など、障害のある方の施設入所支援に対する支援費が主なものでございます。この支援費に対する国・県の負担率は、国が2分の1、県が4分の1でありまして、歳入予算にそれぞれ障害者自立支援給付費負担金として計上されております。

次に、91ページの3款2項1目老人福祉費総務費でございます。その主なものといたしまして、93ページの19節負担金補助及び交付金、説明4の地域密着型サービス等基盤整備費補助金7,620万円は、歳入でも申し上げましたが、民間事業者が町内に1か所予定しております認知症対応型共同生活介護及び小規模多機能型居宅介護の併設施設の建設に対する補助金でございます。

次に、95ページの3目後期高齢者医療費2億1,673万1,000円は、医療制度改革により平成20年4月から施行された後期高齢者医療制度に係る経費を計上したものでございます。その主なものは、13節委託料の説明2健康診査業務1,455万3,000円と、次ページの19節負担金補助及び交付金の説明2広域連合へ支出する静岡県後期高齢者医療医療給付費等負担金1億5,992万円でございます。

次に、97ページの3款3項2目子ども手当費20節扶助費3億3,599万5,000円につきましては、対象となる全体の子どもの数として、延べ人数2万3,714人分、支給金額として、3歳未満児を月額2万円、3歳から中学校修了前を月額1万3,000円を見込みました。子ども手当関係の財源であります国・県負担金については、それぞれの負担率を乗じて歳入予算に計上しております。

同じページの3目保育園費4億1,179万6,000円は、町立保育園4園の健全運営を進めるための経費として、職員の人件費、臨時職員の賃金、給食のための賄材料費、児童を町外の保育園へ保育委託する費用、保育園整備事業費を計上したものが主なものでございます。

保育園整備関係費として、99ページの13節委託料の説明14建設工事設計業務等2,645万円につきましては、きたごう保育園園舎工事設計業務、すばしり保育園園舎基本構想策定業務委託、いきど保育園とすがぬま保育園の園舎改修に係る設計及び監理業務でございます。

次ページの上段15節工事請負費6,950万円につきましては、いきど保育園とすがぬま保育園の園舎改修に係る工事費でございます。

ちなみに、保育園の1月末現在の入園申込者数は、町内保育園の申し込み児童が340人、他市町からの受託児童が4人の計344人、町外へ保育委託する子どもが19人という状況でございます。

続いて、101ページの4目子育て支援事業費1億1,358万6,000円は、子育て支援事業として、町内すべての保育園で実施しています子育て支援のためのペンギンランドの経費や、7節賃金の臨時職員賃金860万円、次ページの13節委託料、説明1の各小学校区に開設している放課後児童クラ

ブ運営費2,046万2,000円、説明2の放課後児童クラブ監理業務280万5,000円は、須走小学校放課後児童クラブ施設建設工事に伴う工事監理料で、15節工事請負費3,288万7,000円は建築工事費及び施設解体費でございます。

次に、4款1項1目保健衛生総務費1億8,492万3,000円は、104ページの19節負担金補助及び交付金の説明4御殿場市救急医療センター負担金5,942万2,000円が主なものでございまして、救急医療センターの総支出額から収入額を差し引いた不採算分を、御殿場市と人口割にて負担するものでございます。

説明6第2次救急医療施設医療機器整備費負担金331万3,000円は、昨年と比較して219万9,000円増額しておりますのは、整備予定医療機関について国庫補助金の採択条件を満たしていないことから、県補助金1,000万円が適用されないためです。

また、説明15医療施設耐震化整備事業負担金1,200万円ですが、第2次救急医療施設である有隣厚生会富士病院が平成23年度から平成25年度までの3年間で実施します耐震化増改築事業に係る負担金でありまして、2億5,000万円を御殿場市とともに負担するもので、小山町分5,000万円を3年間で、毎年度末の出来高払いで負担するものです。平成23年度においては24%の出来高が見込まれているため、1,200万円を計上しております。

105ページの2目予防費6,293万2,000円は、ポリオ、麻疹、風疹等の予防接種に係るワクチン代、ジフテリア・破傷風及び百日ぜきの三種混合、高齢者のインフルエンザ、肺炎球菌、再開が予定されています日本脳炎、新規事業としての子宮頸がん予防ワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンの予防接種に係る医師及び医療機関への委託料が主なものでございます。

107ページの4目母子保健事業費9,805万5,000円は、13節委託料、説明2の妊婦健診及び乳児健診に対する保健事業1,500万円と、20節扶助費の説明1のこども医療費7,150万円が主なものでございます。こども医療費助成につきましては、ゼロ歳から中学3年生までの入院、通院に係る医療費の自己負担額の全額を助成しております。

108ページの4款2項1目環境保全総務費1億2,247万3,000円の主なものは、次ページの19節負担金補助及び交付金、説明8の合併処理浄化槽設置奨励事業補助金2,493万4,000円で、河川の汚染防止、環境保全等を図るため、合併浄化槽65基分の設置奨励費でございます。

次ページの説明11太陽光発電システム等省エネルギー機器設置事業補助金255万円につきましては、省エネルギー機器の設置者に対して補助金を交付するもので、今年度も地域グリーンニューディール基金事業補助金によるエコマイハウス事業とあわせて補助する事業でございます。

111ページの4款3項1目清掃総務費5,333万5,000円の主なものは、7節賃金の説明1臨時職員賃金476万6,000円で、不法投棄されたごみの回収やパトロール等を行う2人分の人件費で、緊急雇用創出事業臨時特例対策事業費補助金を受けて対応するものでございます。

また、13節委託料、説明1塵芥収集運搬4,350万円は、家庭から排出される一般廃棄物のごみ収集運搬に係る委託料で、現在、小山町を4地区に分けて委託しているところでございます。

112ページの2目塵芥処理費5億1,982万8,000円の主なものは、13節委託料、説明1一般廃棄物中間処理2,426万6,000円で、缶、古紙、瓶、ペットボトル、衣類、小型家電製品の分別破碎処理などを行う中間処理に係るものでございます。

また、説明2の一般廃棄物最終処分場浸出水施設管理213万7,000円は、生土最終処分場の排水処理施設の管理に係るものでございます。

続いて、8款消防費について御説明いたします。

148ページをお願いします。下段の3目非常備消防費6,224万1,000円は、小山町消防団に係る経費でございます。1節報酬640万円は、団員184名分の報酬であります。

次ページの9節旅費の主なものは、消防団員の災害出動や訓練等に対する費用弁償であります。今回、231万8,000円の増額につきましては、隔年で実施されております駿東支部消防操法大会の年であり、訓練回数等が増えることによるものであります。

次ページの18節備品購入費2,184万4,000円は、小山町消防団第2分団の消防ポンプ自動車購入費用で、平成8年12月から、14年にわたって火災、訓練等で使用してはりましたが、本来の性能を発揮することが難しい状態になっており、故障する可能性も高くなっている状況から、新しい消防ポンプ自動車に更新するものでございます。

次に、151ページの4目消防施設費344万8,000円の主なものとして、13節委託料200万円は、33年経過し、老朽化が著しく、耐震性もない小山町消防団第5分団車庫の建てかえ工事に対する測量設計費であります。

次に、6目災害対策費793万7,000円のうち、152ページの13節委託料、説明4携帯電話メール配信業務63万円は、携帯電話を利用して災害時の連絡、防犯緊急連絡、学校の緊急連絡に、平成21年度からシステムを導入して運用しているものでございます。

以上で、住民福祉部関係の説明を終わります。

○議長（仲井民夫君） 経済建設部長 小野 巖君。

○経済建設部長（小野 巖君） 一般会計における経済建設部関係の補足説明を行います。

初めに、歳入関係であります。

予算書の26ページをお開き願います。13款1項3目災害復旧費分担金の1節農林水産施設災害復旧費分担金3,449万3,000円は、昨年の台風9号に係る農地災害復旧に伴う受益者からの分担金が主なものであります。

次に、28ページをお開き願います。14款1項5目商工使用料の1節町民いこいの家使用料4,910万3,000円の主なものは、説明1入浴施設利用料4,425万1,000円のあしがら温泉の今年度の入浴利用者実績や、休憩施設増築の完成時期を考慮した利用見込みで計上した額に、2市1町相互利用者などの使用料を含め、前年度当初予算より9%の増額を見込みました。

2節地域振興センター使用料、説明1施設使用料2,241万1,000円は、今年度の株式会社ふじおやま及び農産物出荷組合の売上の5%と、展示室、イベント広場等の利用に対する使用料の実績

を参考に計上した見込額であり、前年度当初予算より2%の増額を見込んだものであります。

その下、6目土木使用料の3節住宅使用料6,300万円は、400戸の入居者をもとに、22年度の決算見込みを考慮して計上したものであります。

次に、31ページをお開き願います。15款2項3目農林水産業費国庫補助金の1節林業費補助金は、説明1森林整備加速化・林業再生事業補助金475万円の高性能林業機械導入及び流通経費支援に対する補助金と、説明2木造構造施設等整備事業補助金4,233万円の、社会福祉法人寿康会が旧町営犬の平団地跡地で計画しています静岡県産材を利用しての社会福祉施設建設に対する補助金で、いずれも林野庁からの補助金であります。

その下、4目土木費国庫補助金の1節道路橋梁費補助金、説明1防衛施設道路整備事業費補助金2,602万6,000円の町道文京通り線舗装工事に係る、防衛省からの防衛8条補助金であります。

次のページ、7目災害復旧費国庫補助金の1節農林水産施設災害復旧費補助金は、説明2農地農業用施設災害復旧費補助金の過年度分2億3,250万5,000円が主なもので、農地83か所、農業用施設11か所に対する農林水産省からの補助金であります。

次に、36ページをお開き願います。16款2項4目農林水産業費県補助金の1節農業費補助金、説明4中山間地域等直接支払い交付金478万2,000円は、平成22年度から第3期の事業として引き続き実施されることとなった中山間地域等直接支払事業に伴う県からの補助金であります。

その下、5目土木費県補助金の2節道路橋梁費補助金450万円は、平成22年度測量設計を行いました菅沼天神原の菅沼ナンバー3急傾斜地崩壊防止事業に対するものであります。

次に、44ページをお開き願います。21款4項1目商工費元利収入1節勤労者住宅建設資金元利収入7,945万5,000円は、年度ごとに精算して会計の透明性を図ることとしたため、前年度末預託金と、平成23年度新規預託金を加えた額を年度末に一般会計へ受け入れるものであります。

次に、46ページをお開き願います。21款6項1目雑入の2節雑入、説明15富士山須走口五合目トイレ使用協力金600万円は、使用料1人200円に対する、今年度の利用実績を参考に見込んだものであります。

その下、説明16地域振興センターテナント管理費1,130万9,000円は、道の駅「ふじおやま」地域振興センター内の電気料、日常清掃等の年間維持管理費について、テナント貸ししている面積割合により、株式会社ふじおやまが45%、農産物出荷組合からは13%をそれぞれ負担していただくものであります。

次のページ、説明43道の駅観光交流センター使用料2,000万円は、道の駅「すばしり」の指定管理者株式会社ピカよりの施設利用料で、道の駅「ふじおやま」を参考に計上しました。

以上が歳入関係であります。

引き続き、歳出関係について御説明いたします。

初めに、79ページをお開き願います。2款7項5目須走道の駅整備事業費1億2,204万5,000円の主なものは、15節工事請負費の新設オンランプ工事で、幅員7メートル、延長388メートルで、

平成24年2月の供用開始を予定しています。

次に、117ページをお開き願います。5款1項6目土地改良事業費の15節工事請負費975万円は、台風9号のため、平成22年度に実施できなかった大倉開田排水路改修工事など、地元から要望がありました用水路等の改修工事4件の町単土地改良事業を実施する工事費であります。

次のページをお願いします。7目演習場周辺障害防止対策事業費の次ページの上段、15節工事請負費976万円は、やはり台風のため実施できなかった一色地内の久根下用排水路、宮沢尻用排水路、琵琶首用排水路の改修を実施するための工事費であります。

その下の8目中山間地域総合整備事業費の19節負担金補助及び交付金の説明1 県営中山間地域総合整備事業負担金675万円は、平成22年度からスタートした、足柄金時地区で実施する測量試験費等に対する負担金であります。

次のページをお開き願います。9目経営体育成基盤整備事業費の19節負担金補助及び交付金、説明1 県営経営体育成基盤整備事業費負担金1,500万円は、北郷北部地区の上野地先での圃場整備工事に対する県への負担金であります。

その下の10目中山間地域直接払推進事業費638万8,000円は、特定農山村法指定地区である湯船地区ほか8地区、32.1ヘクタールの中山間地域において、耕作放棄地の発生を防止し、農業生産活動及び水路・農道等の維持管理などに取り組む事業費であります。この事業は、平成17年度から21年度まで第2期5年間の時限立法でしたが、引き続き平成22年度から第3期事業として取り組んでいくことが決定したことに伴い、実施する事業であります。

次に、122ページをお願いします。5款2項1目林業総務費の次のページ、19節負担金補助及び交付金の説明6 木造構造施設等整備事業補助金4,233万円は、収入でも御説明いたしましたが、社会福祉法人寿康会が旧町営犬の平団地跡地に設置いたします静岡県産材を利用しての社会福祉施設建設に対する補助金で、全額国からのものであります。

次に、125ページをお開き願います。6款1項2目商工業振興費の次のページ、19節負担金補助及び交付金、説明15緊急経済対策交付金2,000万円は、平成22年度から御殿場市で実施されています緊急経済対策住宅建設等助成事業に倣いまして、小山町独自で行うもので、建設建築工事や日常の消費活動を町内で循環させ、町内商工業者の活性化を図るとともに、商品券の交付による助成を通じ、町内における購買意欲を刺激し、町内消費の拡大を目的とするもので、その制度設計につきましては、小山町商工会工業部会とたび重なる話し合いにより決定したものでございます。

説明17ゴルフ振興事業交付金100万円は、平成23年度より御殿場市と共同で利用客の減少傾向に歯どめをかけ、一人でも多くの方に小山町・御殿場市のゴルフ場に来ていただくために取り組むものであります。

その下の21節貸付金7,945万5,000円ではありますが、収入の中でも説明しましたが、勤労者住宅建設資金貸付預託金については、年度ごとに精算し、平成22年度末預託金と新規貸付預託金を労働金庫に預託するものです。新規貸し付けは、預託金の2.5倍を融資対象額として、1件当たりの

限度額を1,000万円とし、一定の要件のもとに勤労者に貸し付けを行っております。

次に、127ページをお願いします。6款2項1目観光費の次のページ、19節負担金補助及び交付金、説明14富士山須走口適正利用推進協議会負担金100万円は、平成23年度より静岡県側の須走口、富士宮口と、山梨県側の吉田口、河口湖口の4口同時に、7月15日以降の金、土、日曜日と、旧盆の時期の8月12日から21日の、計26日間についてマイカー規制を実施することとなり、そのため、須走口では静岡県をはじめ、関係者による適正利用推進協議会を立ち上げましたので、その運営に係る負担金であります。

次に、130ページをお開き願います。3目町民いこいの家管理費3,141万4,000円は、施設の維持管理費として、前年度実績を踏まえ、年間の必要経費を計上したものであります。なお、本年10月には休憩施設の増築が完了する予定で、これにより、1日当たりの収容人数は150人程度増えて、450人程度となる見込みであります。

次のページ、4目道の駅地域振興センター管理費2,218万5,000円は、施設の維持管理費として、前年度実績を踏まえ、年間の必要経費を計上したものであります。

次に、134ページをお開き願います。7款1項2目地籍調査事業費2,558万5,000円でありますが、主なものは、竹之下地区の所領の一部を実施する地籍調査事業であります。

次に、137ページをお開き願います。7款2項3目町道整備事業費であります。次のページの15節工事請負費、説明1道路改良舗装事業2,400万円は、R D F 条件事業の町道2256号線改良舗装工事と、町道2386号線道路改良工事であります。

次のページ、5目防衛施設道路整備事業費4,337万8,000円でありますが、防衛8条事業の補助を受け、平成22年度からの継続で実施します文京通り線舗装工事で、15節工事請負費4,202万2,000円が主なものであります。

その下の6目急傾斜地崩壊防止事業であります。次のページ、15節工事請負費1,000万円は、先ほど収入でも説明しましたが、菅沼地区の菅沼ナンバー3急傾斜地崩壊防止事業であります。

その下の7款3項1目河川費7,046万7,000円でありますが、対前年度比5,388万5,000円の大幅な増額となりましたのは、防衛9条交付金を充当して実施する須走排水路改修工事費が主なものであります。

次に、144ページをお開き願います。7款5項1目住宅管理費の11節需用費、説明6修繕料1,400万円は、町営住宅建物等の修繕に要する費用であります。

次のページ、14節使用料及び賃借料の1,549万3,000円は、29名の方と賃貸借契約しております町営住宅敷地の賃借料であります。

その下の15節工事請負費1,650万円は、町営住宅維持補修のための100万円と、富士見ヶ丘団地の解体工事費1,550万円であります。

次に、177ページをお開き願います。10款1項1目農地農業用施設災害復旧費2億9,946万6,000円は、次のページ、13節委託料、説明2県災害委託業務2億8,606万5,000円が主なもので、台風

9号に係る農地災害83か所、施設災害11か所の災害復旧を静岡県東部農林事務所に委託します事務費5%を含みます委託料であります。

その下、2目林道施設災害復旧費4,634万5,000円は、15節工事請負費、次のページ、説明2町単独災害復旧事業4,030万円が主なもので、災害査定対象にならず、町単独で実施するものであります。なお、補助対象となるものは、平成22年度予算で措置いたしております。

その下、10款2項1目公共土木施設災害復旧費3,401万8,000円は、災害復旧に従事する職員の人件費と、次のページ、19節負担金補助及び交付金1,250万円が主なもので、説明1急傾斜地崩壊対策負担金450万円は、県が実施する急傾斜防止事業で藤曲本通り、湯船上耕地の2か所に対する町の負担金であります。

説明2技術職員派遣負担金800万円は、平成23年度に県から派遣をいただく職員の人件費に対する負担金であります。

以上で、経済建設部関係の補足説明を終わります。

○議長（仲井民夫君） それでは、ここで10分間休憩をいたします。

午前10時55分 休憩

午前11時06分 再開

○議長（仲井民夫君） 休憩を閉じ、休憩前に引き続き会議を開きます。

続きまして、補足説明を求めます。教育部長 常盤十四信君。

説明を、ちょっとゆっくりやってください。

○教育部長（常盤十四信君） 平成23年度一般会計予算、教育部関連の補足説明をいたします。

初めに、歳入についてであります。

予算書29ページをお願いします。上段の14款1項7目教育使用料の1節幼稚園使用料2,342万4,000円は、幼稚園の授業料で、前年度と同額の授業料月額6,100円で、園児数320人として計上したものであります。

次に、その下の2節生涯学習センター使用料の説明欄1生涯学習施設使用料361万円は、文化会館ほか生涯学習施設の年間使用料で、前年度比70.9%減となっていますのは、体育施設の指定管理及び町立体育館・中央公民館の廃止によるものであります。

次に、30ページをお願いします。下段の15款1項2目教育費国庫負担金6,777万6,000円は、須走小学校体育館改築に対するものであります。

次に、32ページをお願いします。15款2項6目教育費国庫補助金の2節中学校費補助金の説明欄の5演習場周辺教育施設設置事業費補助金4,512万円は、小山地区児童屋内体育施設として改修する小山中学校体育館に対するものであります。

次に、その下の3節社会教育費補助金35万円は、今まで国の委託事業として行ってきました学校支援地域本部事業が終了し、新たに国、県、町の3者で教育支援活動推進事業として、学校支

援センターを助成するものであります。

次に、37ページをお願いします。上段の16款2項7目教育費県補助金の1節小学校費補助金100万円は、静岡県市町村振興協会のユニバーサルデザイン化事業による明倫小学校玄関のスロープ設置に対するものであります。

次に、46ページをお願いします。21款6項1目2節雑入の説明欄の中段22文化会館自主事業収入660万円は、自主公演事業の縮小から前年度比51.8%減となっています。

続いて、次のページ、説明欄39体育施設電気料690万円と、その下40の体育施設委託料等948万4,000円は、体育施設の指定管理に伴い、総合体育館等体育施設に係る電気料や施設管理に係る委託料を小山町体育協会に負担いただくものであります。

次に、歳出について説明いたします。

予算書の153ページをお願いします。9款1項1目教育委員会費の155万円は、教育委員5人の報酬、旅費、研修費等、教育委員会の運営に係る経費であります。

次に、154ページをお願いします。2目の事務局費1億248万2,000円は、教育長及び教育委員会事務局職員の人件費と、児童・生徒・教職員の健康管理に係るものが主なものとなっています。この中で、次ページの7節賃金の説明欄1子ども相談員賃金226万4,000円は、22年度で新設した子ども相談員を、1人から2人体制としたことから増額となっています。また、今まで相談室を設置していました中央公民館を廃止することから、子ども相談室「なのはな」は北郷幼稚園に移設いたします。

次に、その下の授業アドバイザー賃金82万1,000円は、教員の授業力向上のためのアドバイザーとして新たに1人を配置し、各小・中学校を巡回し、助言・指導するものであります。

次に、157ページをお願いします。9款2校小学校費の1目学校管理費6億4,398万5,000円は、小学校5校の管理運営に係るもので、前年度に比べ282.2%増となっていますのは、須走小学校体育館改築等による工事請負費の増額によるものです。

また、中段の7節賃金5,292万8,000円は、スムーズな学校運営と温かな学校給食の提供、子どもたちの学習支援のための臨時職員の配置で、前年度比26.1%増となっています。これは、正規職員の退職により、給食員、用務員をそれぞれ1人増員したことと、説明欄6の臨時栄養士賃金231万7,000円と、その下の7図書館支援事務員賃金106万4,000円を新たに計上したためです。栄養士は平成22年度から県費栄養士が1人減となったため、町費で配置することとなったもので、図書室支援員は、子どもたちの読書環境を整え、読書活動の推進を図るため、1人を配置し、5校を巡回指導するもので、中学校費にも同様に1人配置いたします。

次に、158ページをお願いします。13節委託料のうち、説明欄下の17建築工事設計監理等1,263万6,000円と、次ページ中段の15節工事請負費4億8,337万9,000円は、先ほど増額理由で説明いたしました須走小学校体育館改築に係るものが主なもので、社団法人須走彰徳山林会様からの寄附及び国庫補助金を受け進めるものであります。

次に、160ページをお願いします。上段の2目教育振興費1,008万5,000円は、小学校における外国人英語指導員派遣に係る委託料と、要保護・準要保護世帯等の就学支援のための扶助費が主なものであります。

続いて、下段の9款3項中学校費の1目学校管理費9,637万2,000円は、中学校3校の管理運営に係るもので、前年度比48.9%減となっていますのは、北郷中学校外構工事が平成22年度に前倒しとなったことなどにより、工事請負費の計上がなくなったためであります。

続いて、次ページの7節賃金2,281万4,000円は、小学校費と同じく、臨時職員配置のためのもので、この中で専科教諭配置のない美術、家庭科等の講師配置のための説明欄4の非常勤講師賃金が、県費配置が見込まれることから、前年度より294万4,000円減額となっています。

次に、163ページをお願いします。下段の2目教育振興費1,240万円は、次ページになりますが、中学校における外国人英語指導員派遣に係る13節の委託料と、要保護・準要保護世帯等の就学支援のための20節扶助費が主なものであります。

続いて、中段の3目小山中学校改築事業費1億5,039万7,000円であります。平成21年度から年次計画で進めており、昨年10月、本校舎が完成し、南校舎の耐震補強も継続事業として進めております。

次ページ、15節工事請負費1億2,015万8,000円は、北校舎の解体及び外構工事と、24年度に予定していました体育館屋根等改修を前倒し実施いたします。また、その下の18節備品購入費2,500万円は、南校舎特別教室備品、体育館用備品等の購入であります。

次に、その下の9款4項1目幼稚園費1億3,688万4,000円は、幼稚園の管理・運営に係る経費で、2月14日現在の申し込み人数は4園合わせて312人で、16クラス編成を予定しています。主なものは、職員の人件費と、職員の臨時的教諭、用務員の賃金で、7節賃金4,197万9,000円では、障害児受け入れのための、各幼稚園に教諭補助を配置いたします。

次に、167ページをお願いします。9款5項1目社会教育総務費8,115万8,000円は、社会教育委員会ほか3委員会の委員と、社会教育指導員の報酬、職員の人件費及び各種社会教育団体の支援が主なものであります。

次に、169ページをお願いします。上段13節委託料の説明欄1古文書解読者育成事業1,747万2,000円は、緊急雇用創出事業により、富士紡等の歴史資料を整理しながら、古文書解読等の知識と保存管理技術の習得による人材育成のためのもので、6人を雇用予定しています。

その下の19節負担金補助及び交付金383万7,000円は、社会教育施設費を廃目としたことから、公民館及び児童館に係るものと、収入で御説明しました、次ページになります説明欄20のボランティア支援センター助成金に加わり、前年度より151万1,000円増額となっています。

次に、170ページをお願いします。下段の2目生涯学習推進費298万4,000円は、生涯学習推進委員の報酬、町民講座や趣味の教室など、各種講座の開催、昨年貴乃花親方を招いて開催しました生涯学習講演会や町民文化祭開催に係るものです。

続いて、次ページの3目図書館費2,248万円は、職員の人件費と臨時職員の賃金及び図書購入費が主なものです。この中で、次のページになります、上段の11節需用費の説明1 消耗品費115万8,000円では、幼児期から読書の習慣をと、ブックスタートの経費を見ているますが、新たに小学校新入学児を対象にした図書プレゼントのための経費を盛り込んでおります。

次に、同ページの下段の4目生涯学習センター管理費1億4,341万4,000円は、文化会館の管理運営に係る職員の人件費、巡回バスの運転など臨時職員の賃金及び施設管理に係る燃料費や委託料などの経費が主なものであります。

続いて、174ページをお願いします。13節委託料の説明欄、上から3段目の4 体育施設指定管理料3,147万3,000円は、平成23年度からの体育施設の指定管理者移行による小山町体育協会への管理料であります。

その下の14節使用料及び賃借料のうち、説明欄1 敷地借上料1,759万1,000円は、町立体育館等の管理経費を計上していました体育施設を廃目したことから、パークゴルフ場分212万2,000円が増額となっています。

次に、175ページをお願いします。5目自主文化事業費1,219万9,000円は、金太郎ホール等での自主公演事業に係る経費で、対前年度比44.8%減となっています。これは、自主公演のための13節委託料を950万円と、前年度比50%減としたことで、公演回数も昨年の13公演から7公演へと減っています。こうしたことから、自主公演事業につきましては、昨年実施いたしましたスタインウエインコンサートなど、町民参加型事業や民間プロモーターなどとの共催事業を計画し、町民の方の舞台芸術の鑑賞機会をなるべく減らさないようにと計画しています。

その下の社会教育施設費は、児童館併設の中央公民館の廃止により廃目とし、児童館事業経費は、1目の社会教育総務費に計上し、事業も総合文化会館で引き継ぎ実施いたします。

次に、176ページをお願いします。9款6項1目保健体育総務費1,005万1,000円は、社会教育の推進に要する経費であります。その主なものは、15人の体育指導委員の活動に要する経費と、各種のスポーツ教室の開催に係る経費であります。その中で、13節委託料の説明欄1 スポーツインストラクター育成事業309万9,000円は、緊急雇用創出事業で2人を雇用し、社会体育推進のための人材育成を図るものです。

次に、中段の体育施設費は、町立体育館の廃止及び体育施設の指定管理により廃目といたしました。

以上で、教育部関係の補足説明を終わります。

○議長（仲井民夫君） 以上で、平成23年度小山町一般会計予算における各部長の補足説明は終わりました。

日程第2 議案第17号 平成23年度小山町国民健康保険特別会計予算

日程第3 議案第18号 平成23年度小山町育英奨学資金特別会計予算

日程第4 議案第19号 平成23年度小山町後期高齢者医療特別会計予算

日程第5 議案第20号 平成23年度小山町下水道事業特別会計予算

日程第6 議案第21号 平成23年度小山町土地取得特別会計予算

日程第7 議案第22号 平成23年度小山町介護保険特別会計予算

日程第8 議案第23号 平成23年度小山町水道事業会計予算

○議長（仲井民夫君） 次に、日程第2 議案第17号から日程第8 議案第23号までの平成23年度特別会計及び水道事業会計の予算7件については一括議題といたします。

なお、議案第18号 平成23年度小山町育英奨学資金特別会計予算、議案第21号 平成23年度小山町土地取得特別会計予算の2議案につきましては、2月25日に詳細な提案説明がありましたので、部長の補足説明は省略をします。

それでは、初めに、議案第17号 平成23年度小山町国民健康保険特別会計予算、議案第19号 平成23年度小山町後期高齢者医療特別会計予算、議案第22号 平成23年度小山町介護保険特別会計予算の3件について、順次、部長の補足説明を求めます。住民福祉部長 土屋礼二君。

○住民福祉部長（土屋礼二君） 住民福祉部関係の特別会計3会計について、順次御説明を行います。

まず、議案第17号 平成23年度小山町国民健康保険特別会計予算の説明を行います。

お手元の付属資料8ページをお開きください。予算の総額を、歳入歳出それぞれ18億円といたしました。予算の規模は、前年度当初予算と比較しますと5,700万円の増となっているところでございます。

国保の被保険者数は、昨今の景気低迷による影響で失業者の増加に伴い、国保に加入される方も増加している状況にあります。このような状況の中にあつて、国民健康保険特別会計は、前年比3.3%の増となっておりますが、今後の医療費の動向によっては、基金の取り崩しや税率改正も視野に入れておく必要があると考えております。

次に、新年度予算編成に当たり、留意いたしました事項について申し上げます。

初めに、歳入の1款国民健康保険税につきましては、被保険者の税負担の公平化を図りながら、保険給付費や後期高齢者支援金の財源確保に努めているところでございます。

4款国庫支出金、5款療養給付費交付金につきましては、静岡県国民健康保険団体連合会の試算及び国の負担指示率等に基づき積算し、計上したものでございます。

一方、歳出2款保険給付費及び3款後期高齢者支援金等につきましては、国保連合会の試算額により計上したものでございます。

8款保健事業費につきましては、平成20年から医療保険者への義務化となりました特定健康診査・特定保健指導を重点施策としております。

以上で、国民健康保険特別会計予算の説明を終わります。

続きまして、議案第19号 平成23年度小山町後期高齢者医療特別会計予算の説明を行います。

付属資料につきましては、9ページの下段をお願いします。

本会計は、高齢者の医療の確保に関する法律による低所得者等の保険料軽減分に対する一般会計からの繰り入れと、後期高齢者からの保険料を合算して、後期高齢者医療広域連合へ納付するものがございます。

予算の総額は1億9,350万円となっています。

歳入予算では、1款後期高齢者医療保険料1億7,032万3,000円と、2款繰入金2,162万4,000円は、ともに静岡県後期高齢者医療広域連合の試算に基づき計上いたしました。

歳出予算では、歳入予算の収入を静岡県後期高齢者医療広域連合へ納付金として納付するものがございます。

以上で、後期高齢者医療特別会計予算の説明を終わります。

最後に、議案第22号 平成23年度小山町介護保険特別会計予算の説明を行います。

ページは、付属資料11ページとなります。まず、本会計の概要から説明いたします。

介護保険事業は平成12年度から開始され、3年ごとに事業計画など見直しをしております。本年度は第4期事業計画の3年目となります。

予算の総額は、歳入歳出それぞれ13億600万円といたしました。予算の規模は、前年比1.7%の増となっております。

初めに、1款保険料は、65歳以上の第1号被保険者分を計上したものであり、2億4,670万円で、対前年度とほぼ同額となっております。

その他の歳入につきましては、それぞれの負担割合により、国・支払基金・県及び町からの歳入でございます。

次に、歳出でございます。2款保険給付費12億2,316万円は、ホームヘルプサービスやデイサービス等の利用に伴う居宅介護サービス給付費4億3,200万円、グループホーム等の利用に伴う地域密着型介護サービス給付費8,400万円、特別養護老人ホーム等施設利用に伴う施設介護サービス給付費5億8,800万円が主なものでございます。

4款地域支援事業費2,862万円につきましては、特定高齢者及び一般高齢者に対して行う各種介護予防事業、直営で運営しています地域包括支援センターを中心とした総合相談、虐待防止や食事の配達サービス、紙おむつの支給事業、ふれあい茶論、ミニデイサービス等の高齢者の生きがいと健康づくりを推進していくものでございます。

以上で、平成23年度介護保険特別会計予算の説明を終わります。

以上でございます。

○議長（仲井民夫君） 次に、議案第20号 平成23年度小山町下水道事業特別会計予算、議案第23号 平成23年度小山町水道事業会計予算の2件について、順次部長の補足説明を求めます。経済建設部長 小野 巖君。

○経済建設部長（小野 巖君） 初めに、議案第20号 平成23年度小山町下水道事業特別会計予算

の補足説明を行います。

下水道事業特別会計は、予算書の254ページからとなっております。

初めに、歳入関係であります。

予算書の259ページをお開きください。1款1項1目下水道使用料8,079万5,000円は、1節下水道使用料及び手数料の説明1下水道使用料8,000万円が主なものであります。前年度比495万1,000円、5.8%の減額を見込みました。平成22年度の使用料の実績に基づき、1期1,543戸6期分を計上したものであります。

次に、2款1項1目一般会計繰入金9,171万7,000円は、下水道特別会計における歳入歳出の差額を一般会計から繰り入れるもので、前年度比322万7,000円、3.6%の増額となっております。増額の主な要因につきましては、歳入において下水道使用料の大口事業所の使用料金が減ったことによるものであります。

次に、歳出関係であります。

261ページから263ページにかけての1款1項1目下水道総務費8,552万6,000円ではありますが、前年度比504万1,000円、5.6%の減額を見込みました。

主な支出内訳といたしましては、261ページの下段から、次のページにかけての11節需用費1,540万9,000円、説明1の消耗品費300万円の須走浄化センター汚泥処理用薬品及び滅菌用薬品代、説明5の光熱水費777万円の須走浄化センター電気料及び水道料金とマンホールポンプ15か所の電気料、説明6の修繕料443万6,000円のマンホールポンプ修繕1か所2基分及び須走浄化センター電気設備等修繕料と、中段の13節委託料4,453万8,000円は、須走浄化センターの運転及び下水道施設の維持管理のため、説明欄にあります11業務の委託料であります。

次に、264ページをお願いします。2款1項1目元金の23節償還金利息及び割引料6,277万6,000円ではありますが、平成6年度から平成15年度までの間に借り入れた33件分の償還金元金であります。

その下の2目利息の23節償還金利息及び割引料の説明1の償還金利息2,693万1,000円は、借り入れております33件分の起債に対する償還金利息であります。

下水道事業特別会計につきましては、以上であります。

引き続きまして、議案第23号 平成23年度小山町水道事業会計予算の補足説明を行います。

水道事業会計の予算書につきましては、別冊となっておりますので、よろしく願いをします。

最初に、予算書の4ページをお開き願います。平成23年度の水道事業会計の業務量であります。第2条の業務の予定量に記載してありますように、給水戸数7,138戸、年間総給水量378万5,914立方メートル、一日平均給水量1万372立方メートルであります。また、主な建設改良事業といたしまして、第4期拡張事業に基づく北郷水系棚頭第2配水池築造工事、小山水系配水管布設工事などの事業であります。

3条の収益的収入及び支出であります。収益的収入の1款1項営業収益2億810万4,000円は、

水道使用料 2 億280万円、水道加入分担金350万円及び下水道使用料受託収益123万4,000円が主なものであります。前年度比34万5,000円、0.2%の増額を見込みました。

収益的支出の 1 款 1 項営業費用 1 億9,031万8,000円は、事業運営、水道施設の維持管理及び減価償却費等であります。前年度比91万4,000円、0.5%の増額を見込んだものであります。

次に、4 条の資本的収入及び支出であります。1 款の資本的収入 1 億5,296万6,000円は、企業債1,000万円、国庫補助金 1 億4,292万6,000円が主なものであります。

なお、補助事業は、防衛省からの防衛 8 条、棚頭第 2 配水池築造工事、防衛 9 条の県道沼津小山線配水管布設工事及び厚生労働省からの水道災害復旧工事 2 件の 4 件であります。

資本的収入の前年度比は8,810万6,000円、135.8%の増額となっております。主な増額の要因につきましては、棚頭第 2 配水池築造工事に伴うものであります。

次に、5 ページをお願いします。1 款の資本的支出 3 億6,212万1,000円は、建設改良費 3 億5,170万2,000円と、企業債償還金1,041万9,000円であります。

建設改良費の主なものは、水源施設費1,300万円、配水施設費 3 億2,751万9,000円及び災害復旧費1,065万3,000円が主なものであります。その内訳につきまして、31ページをお開き願います。配水施設費のうち、公有財産購入費600万円は、犬の平及び鮎沢の受水槽用地約400平方メートルを取得するため、工事請負費 2 億8,333万5,000円は、第 4 期拡張事業に基づき、防衛事業 2 件を含む 6 件の配水施設等の整備工事、災害復旧費1,065万3,000円は、厚生労働省補助事業 2 件の 2 件の災害復旧工事を実施する工事費であります。

再び 5 ページをお願いいたします。資本的支出の前年度比は 1 億3,524万1,000円、59.6%の増額となっております。

次に、2 項企業債償還金1,041万9,000円は、昭和56年度から平成17年度までに借り入れた12件分の企業債に対する元利償還金であります。

資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額 2 億915万5,000円は、4 ページの第 4 条に記載しましたように、当年度消費税及び地方消費税資本的収支調整額、当年度分損益勘定留保資金及び建設改良積立金で補てんするものであります。

再び 5 ページをお願いします。第 6 条の継続費であります。資本的支出の 1 款 1 項の棚頭第 2 配水池築造工事に係る平成22年度からの 2 か年の継続費であります。平成23年度の事業費は 1 億9,734万円で、その財源としまして、国庫補助金 1 億1,369万4,000円、建設改良積立金8,364万6,000円であります。

次に、18ページをお開き願います。平成22年度の水道事業予定損益計算書であります。下段の当該年度未処分利益剰余金1,791万2,000円は、22年度の決算見込額を考慮して計上したものであります。前年度比869万8,000円、94.4%の増額となっております。主な要因につきましては、営業費用の支出の削減を図ったものであります。

次に、21ページをお開き願います。平成23年度の水道事業予定貸借対照表であります。貸借対

照表につきましては、水道事業会計の財政状況をあらわすものであります。

資産の部であります。1の固定資産合計は、下から7行目、43億3,848万1,000円で、前年度比2億4,045万円、5.9%の増額を見込んでおります。主な要因につきましては、配水池の築造、配水管布設、ポンプ設備、電気設備など、工事に係る資産の増によるものであります。

次に、22ページの資本の部であります。(2)の利益剰余金合計は、下から4行目、3億9,643万1,000円で、この額が当年度以降の資本的収支不足額の補てん財源となるものであります。前年度比9,487万1,000円、19.3%の減額を見込んでおります。主な要因につきましては、先ほど継続費で説明いたしましたが、棚頭第2配水池築造工事に伴い、建設改良積立金8,364万6,000円を補てんして工事を実施するためであります。

なお、収入、支出の詳細につきましては、7ページ、8ページの水道事業会計予算実施計画書、23ページからの小山町水道事業会計予算説明書に記載してありますので、御参照をいただきたいと思っております。

以上であります。

○議長（仲井民夫君） 部長の補足説明は終わりました。

以上で、本日の日程は全部終了しました。

次回は、3月2日水曜日 午前10時開議

議案第16号から議案第23号までの平成23年度当初予算8件を順次議題として、質疑、委員会付託を行います。

本日はこれで散会をします。

午前11時47分 散会

この会議録は事実と相違ない事を認めここに署名する

議 会 議 長 仲 井 民 夫

署 名 議 員 込 山 恒 広

署 名 議 員 岩 田 治 和